

## IV 東京湾赤潮・青潮調査

東京湾の赤潮の発生状況については、公共用水域水質測定計画に基づく調査、環境研究センターによる東京湾水質調査及び水質調査船「きよすみ」の巡視等による観測から把握しており、その結果は以下のとおりである。

また、赤潮の判定は海水の色相がオリーブ系ないしブラウン系に変わっている海域を判定するとともに、水質データからの赤潮の判定は、表4-1で示される「赤潮の目安」を参考に判定しており、19年度における月別発生回数は表4-2のとおりである。

表4-1（千葉県における）赤潮判定の目安

色 相	オリーブ系～ブラウン系
透 明 度	1.5m以下
クロロフィル a	50 $\mu$ g/L以上
溶存酸素飽和度	150%以上
pH	8.5以上

表4-2 月別赤潮発生回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
調査回数	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	3	4	49
発生回数	1	1	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	10

青潮については、水質保全課と環境研究センターが共同で青潮発生時に、随時現場調査を行っており、19年度の青潮発生状況及び経年推移は表4-3及び表4-4のとおりである。

表4-3 平成19年度青潮発生状況

発生日	発生水域（最大時）	漁業への被害等
9/2～9/4	養老川河口～千葉中央港～稲毛沖～幕張沖～ 茜浜沖～船橋港～市川港	なし
10/1～10/2	船橋港内～船橋航路	なし
10/16～10/18	千葉中央港内、幕張沖～茜浜沖～船橋航路～ 船橋港、浦安沿岸	なし

表4-4 青潮発生の推移

年 度	15	16	17	18	19	5年間平均
回 数	2	1	6	1	3	2.6回
延べ日数	7	4	20	7	8	9.2日